

創 souki 喜

第58号
平成27年6月

発行: **株式会社**
mi ミヨシロジスティックス
〒252-0134
神奈川県相模原市緑区下九沢2129-4
TEL 042-779-6619
FAX 042-779-9594

<http://miyoshi-log.co.jp/>

「意識高め安全職場」

7月から全国労働安全週間

今年度で88回目の実施 「人命尊重」理念に

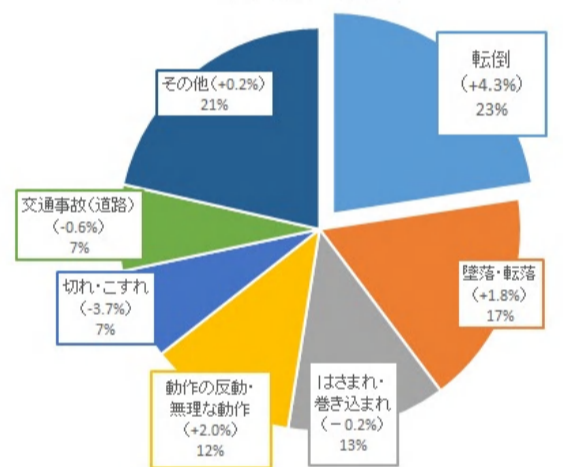
平成27年7月1日から7月7日まで、全国労働安全週間が実施されます。6月いっぱいはその準備期間であり、安全週間実施の通知や日々の安全意識を高めるための実施事項があり、各事業場で取り組むこととなっています。

今年度の安全スローガンは「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」です。最近の4年間で労働災害件数が増え続けており、中でも平成26年度の上半期では前年を大幅に

上回る件数となっていました。緊急対策を打ち、下半期では災害件数を前年同期より下回ることができましたが、年間で見るとやはり災害件数は増加という結果に終わっています。

また、昨年度の労働災害「平成26年度 休業4日以上死傷災害」の死傷災害については全体で11万人以上です。事故の型別内訳はグラフの通りとなっています。

平成26年度 休業4日以上死傷災害種別割合
(項目の内%)は前年比)



慮すると対策を打ち、安心して働ける環境を整えることが必要です。そこで今年度は厚生労働省と労働災害防止団体が主催となり、「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」を立ち上げました。

今年度いっぴいが取組期間となっており、全国労働安全週間の準備期間は重点取組期間とされ、特別重点事項として転倒災害防止対策の取組の状況確認が挙げられています。

事業場での転倒防止対策として、次のように具体的に明示もされています。

- ① 段差・継ぎ目の解消、4Sの徹底(床面の油污、水濡れ、障害物の除)
- ② 照度の確保、危険箇所の表示等「見える化」の推進
- ③ 安全な歩き方、作業方法の推進
- ④ 作業内容に適した保護具の推進

6月、7月は雨の多い季節ですので、床面が大変滑りやすくなる時期です。製造業の現場では部品についている工業用オイルで滑りやすい作業場等もありしますので、職場でも、個人でも滑らない工夫をして安全第一で作業に取り組んでいきたいですね。

また、現場には様々な道具やモノ、そしてたくさんの方が関わっています。「これくらいいい」「ちょっとくらい大丈夫」という、気の緩みが自分だけではなく他のモノの破損や他の人の命に係る大きな災害に発展してしまう恐れがあります。

労働安全週間準備期間の6月に入ってから発生してしまつた労働災害もあります。この機会に、安全や日々の取組について見直すきっかけとしてみてはいかがでしょうか。

広報活動を強化中 ホームページも改善

当社は毎年1月より新年度がスタートします。今年度も残すところあと半期となりました。昨年度よりも、更に注力している取組の一つに広報活動がありますので、今回はその現状を簡単にご紹介いたします。

これまででは会社の組織と連動したかたちでホームページ全体を組み立てていきましたが、お客様によりわかりやすくお伝えして、より深く当社を知って頂くために当社事業内容をトップページで表

示する形に変更致しました。ネット関係ですと、神奈川の地元企業を応援する「産業Navi」にも掲載準備中です。ご依頼の企業様、お仕事をお探しの方どちらからもご覧いただきたいとお気軽にお問合せ頂けるページを鋭意製作中です。

ホームページでお知らせいたします。今後はネット広告にも力を入れていく予定です。検索エンジンで「ミヨシ・ロジスティックス」「相模原派遣ドットコム」と入力せずとも便利に探して頂けるように、と考えております。

他にも地元の就職情報誌への掲載、サイト広告の折り込みを予定しております。ネット媒体だけでなく紙媒体でも色々な方に当社を知って頂けるよう幅を広げていきます。

模原市内で行われる就職イベント等で配布される予定です。ネットや広告だけではなくこの社外報「創喜」も継続致しますし、更にお役に立てる内容、気になる時事ニュースや発表を取り上げて発信できるように努力してまいります。

今後ホームページやパブリシティ情報は随時改善、更新を行いますので弊社ホームページならびに営業サイトをどうぞ宜しくお願致します。

「編集後記」いつも「創喜」をご覧いただきありがとうございます。じめじめとした空気とすっきりしない天気が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。さて、今回は最近仕事の中で感じたことを書かせて頂きます。以前受けた研修の中で、仕事で「感動」を与えるにはどうすればよいかというテーマがありました。

結論から言うと、少しでも期待を上回れば感動して頂くことができ、期待と成果や実感がイコールであれば満足、それ以下であれば不満が残ってしまう、ということです。この考え方は一般的によく知られていることであると思いますが、ビジネスでは出来て当然のことばかりの中で、期待を上回るのなかなか難しいことだと実感しています。

ビジネスと言えども、人と人とのつながりや信頼関係がなければ成立しません。些細なことを覚えていたり、いつも挨拶が気持ち良かったり、人としてプラスアルファの心遣いがどれだけ出来るのかが大切なのではないかと感じています。皆様は最近、ビジネスで感動されたことはありましたでしょうか。当社も出会いとつながりを大切にしていけるよう努力してまいります。